住民の声

灘地区をお訪ねしました！

灘地区は、大方地域の東部の海岸線沿いに位置し、地区長によると世帯数は18世帯、人口40人の小集落で、その内65歳以上の方が半数以上の25人と高齢化（率63％）が進んでいるとのこと。

また、当地区の沿岸は、磯釣りの好漁場となっており、年間を通じて大勢の太公望が訪れるほか、イセエビ漁も盛んとのことでした。

反面、沿岸ぞいの地区全体が20ｍもの津波高の予想となっているため、住民の危機意識は高く、毎年の防災訓練では、避難に加え炊き出しも行っているとのことでした。

7月8日、地区の夏祭りにもおじゃまをし、沢山の元気を頂きました。

地区を見守る「劔神社」で夏祭りの神事が

入野区長（中央奥）の乾杯音頭で夏祭りの宴が

灘港近辺に民家が立ち並ぶ灘地区（上と右）

上と左は、防災訓練での「炊き出し」とその後の「お味見」の一コマ

入野　隆区長の声

当地区は、小規模な地区ですが住民のまとまりが良く、年中行事なども難なくこなしています。しかし、当地区も少子高齢化が急速に進み、今後への不安も感じています。

このため、地区の活性化策として、敬老祝賀会や秋祭りなどで、整備して頂いたカラオケを活用したカラオケ大会を、また盆踊りには他地区からも大勢の方が訪れ、毎年盛大に開催しています。

議会や行政への一言ですが、地区の主産業イセエビ漁の漁獲高向上を目指した漁礁の設置や、住環境改善のため老朽化した空家の除去など、小集落の課題解決に、より一層の取り組みをお願いします。

カラオケでみんなが盛り上がり、おどけた踊り？の飛入りも

編集後記

6月末日、縁もゆかりもない当町へ総務省から来られた北岸英敏町参事が、2年の任期を終えて帰任しました。

彼からは、新たな「黒潮町総合戦略」づくりの先導や「仕事への意識改革」など多くの置き土産をいただき、その業務を引き継ぐ形として、企画調整室が新設されることとなりました。

この総合戦略を基に住民と一丸となり活性化を図り、町の発展を目指したい。

（浅野修一）

議会広報常任委員会

委員長　宮川　徳光
副委員長　浅野　修一
委　員　小松　孝年
同　坂本　あや
同　藤本　岩義
同　宮地　葉子

黒潮町 議会だより・議事録は、黒潮町ホームページよりご覧になれます。
http://www.town.kuroshio.lg.jp/→黒潮町の紹介→議会→議会だより→バックナンバー

■発行人　高知県黒潮町議会
■編　集　黒潮町議会広報常任委員会
■住　所　高知県幡多郡黒潮町入野 5893 TEL(0880)43-2111(代)・(0880)43-2831(直)
■発行日　平成30年8月1日